

---

令和7年度 厚生労働省 テレワークセミナー

# テレワーク活用事例のご紹介

~社員の働きやすさと生産性の向上の両立~

2025年

一般社団法人 日本テレワーク協会  
村田 瑞枝



テレワーク応援キャラクター  
"ンガちゃん"

# 自己紹介させて下さい



- 宮崎県の出身です。中央区日本橋に20年住んでいます。
- NTTに約30年勤めていました
- 得意分野は**WEBの法人向けソリューション**です（25年間やってきました）
- 中小企業診断士、ファイナンシャルプランニング技能士1級、最近はロングステイアドバイザーと取得し、今、社会保険労務士の勉強中です。資格は30代でとりましたが、**力不足で会社員に留まりました。**
- 趣味は**走ることと山登り**をすること、ゴルフはお付き合い程度。日本橋から新潟まで走っていったこともあります
- 日本テレワーク協会に来て一番良かったことは、ワーケーションついでに全国を旅し、山に登ったり走ったりできること
- 尊敬するタレントは増田明美さん

# 日本テレワーク協会のご紹介

---

**設立：**1991年  
日本サテライトオフィス協会設立  
2000年  
日本テレワーク協会へ名称変更

**目的：**日本におけるテレワークの普及推進

**理事：**20名

**会員：**403企業・団体・自治体（2025年3月現在）

**理念：**情報通信技術（ICT）を活用した、場所と時間にとらわれない柔軟な働き方である「テレワーク」を、広く社会に普及・啓発することにより、**個人に活力とゆとりをもたらし、企業・地域の活性化による調和のとれた日本社会の持続的な発展に寄与する**



# テレワークを取り巻く概況



## テレワークを取り巻く環境（全体像）

### 社会的要因

- ▶ 働き方の多様化
- ▶ 人口減少・高齢化対応
- ▶ 育児・介護との両立

### 技術的要因

- ▶ ICTインフラの整備
- ▶ クラウド／ツールの普及
- ▶ セキュリティ技術の進化

### 制度的要因

- ▶ 法制度の整備
- ▶ テレワークガイドライン
- ▶ 助成金・支援制度

### 経済的要因

- ▶ BCP対策（感染症・災害）
- ▶ オフィスコスト削減
- ▶ 優秀人材の確保競争

### 文化的要因

- ▶ 管理職の意識改革
- ▶ 信頼関係の再構築
- ▶ 成果で評価する文化



法改正によるテレワーク推進の動き

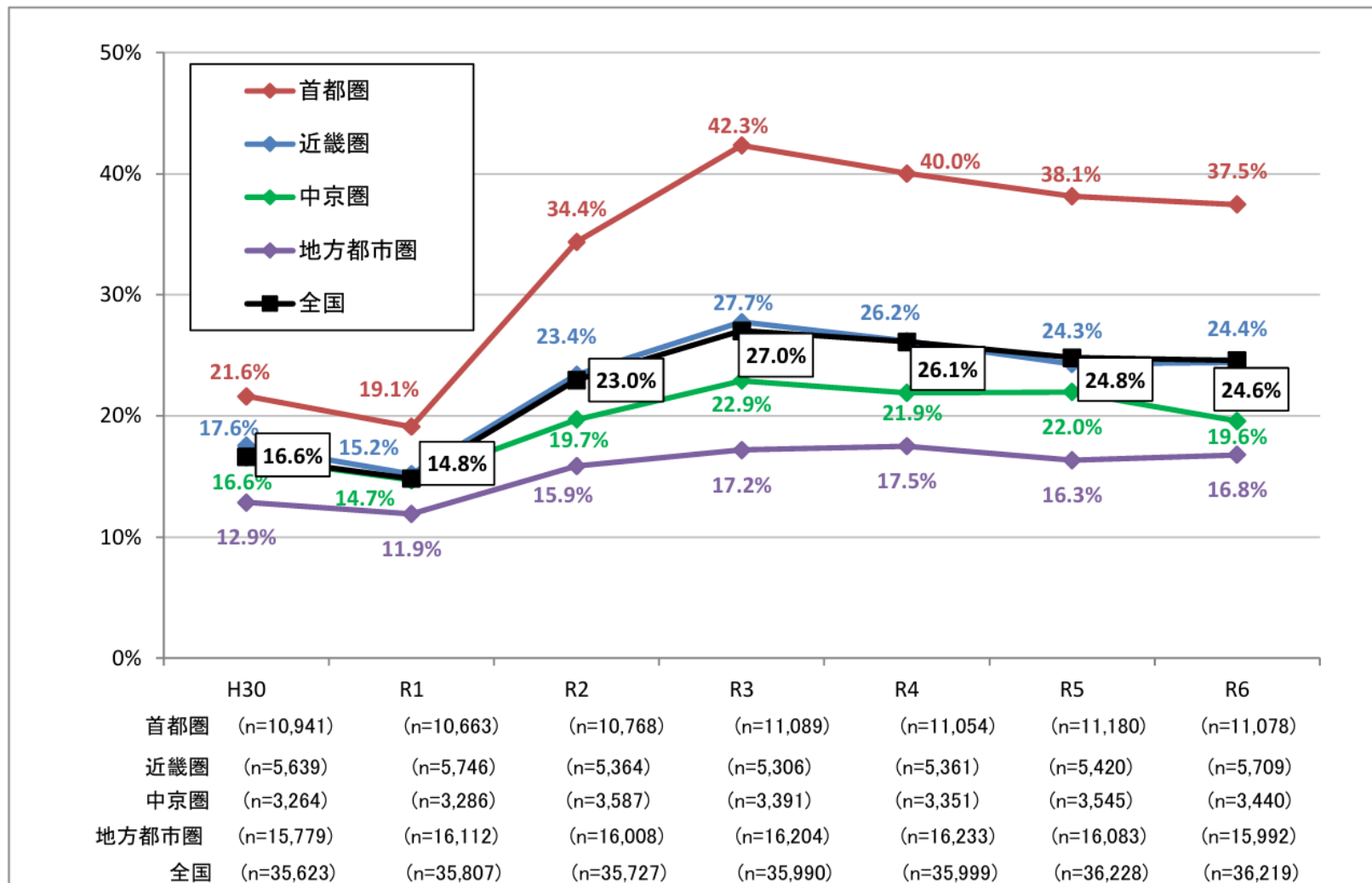
全体的な実施率の低下傾向

企業規模や業種による差：大企業を中心にオフィスへの回帰を進める動きが見られる一方で、中小企業や特定の職種では引き続きテレワークが活用されています。

働き手のニーズとのギャップ

# 国土交通省 令和6年度 テレワーク人口実態調査

雇用型テレワーカーの割合【H30-R6】



(※)首都圏： 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

中京圏： 愛知県、岐阜県、三重県

近畿圏： 京都府、大阪府、兵庫県、奈良県

地方都市圏： 上記以外の道県

※単数回答

<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001878996.pdf>

# 国土交通省 令和6年度 テレワーク人口実態調査

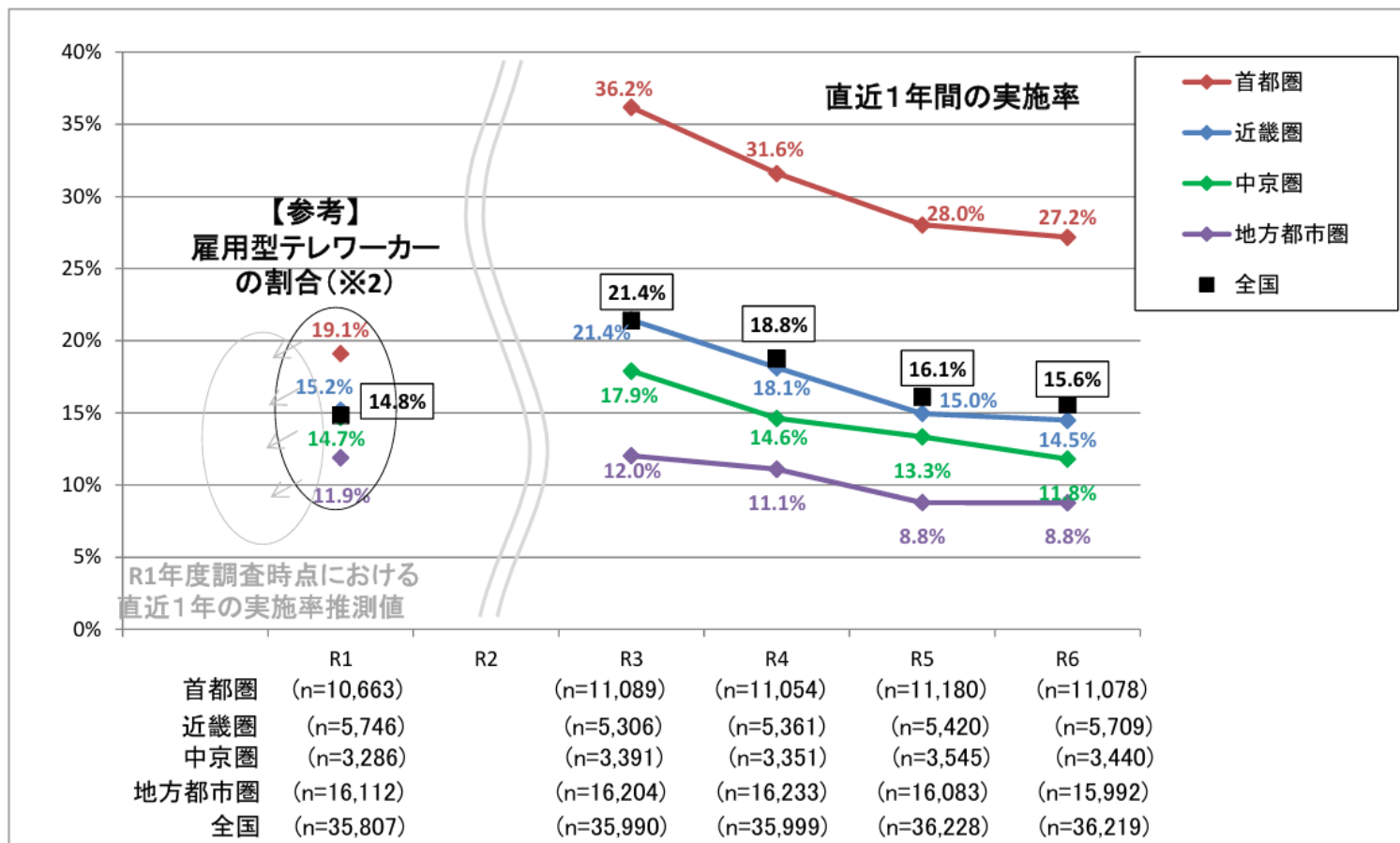
【設問対象者】雇用型就業者[n=36,219]

○コロナ禍以降の直近1年間のテレワーク実施率(※1)は、どの地域も減少しているが、全国平均ではコロナ流行前時点のテレワークをしたことのある人の割合と比べて高い水準を維持。

⇒コロナ禍からのより戻しが見られるが、全国平均では従前よりは高い水準にあり、定着傾向。

(※1)雇用型就業者のうち、各調査年度において直近1年間にテレワークを実施しているテレワーカーの割合

直近1年間のテレワーク実施率【R3-R6】



(※2)これまでテレワークをしたことがあると回答した人の割合。「直近1年間の実施率」はこの値よりも低い。

<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001878996.pdf>

※単数回答



# 国土交通省 令和6年度 テレワーク人口実態調査

【設問対象者】雇用型テレワーカーのうちテレワーク継続意向あり [n=5,672]

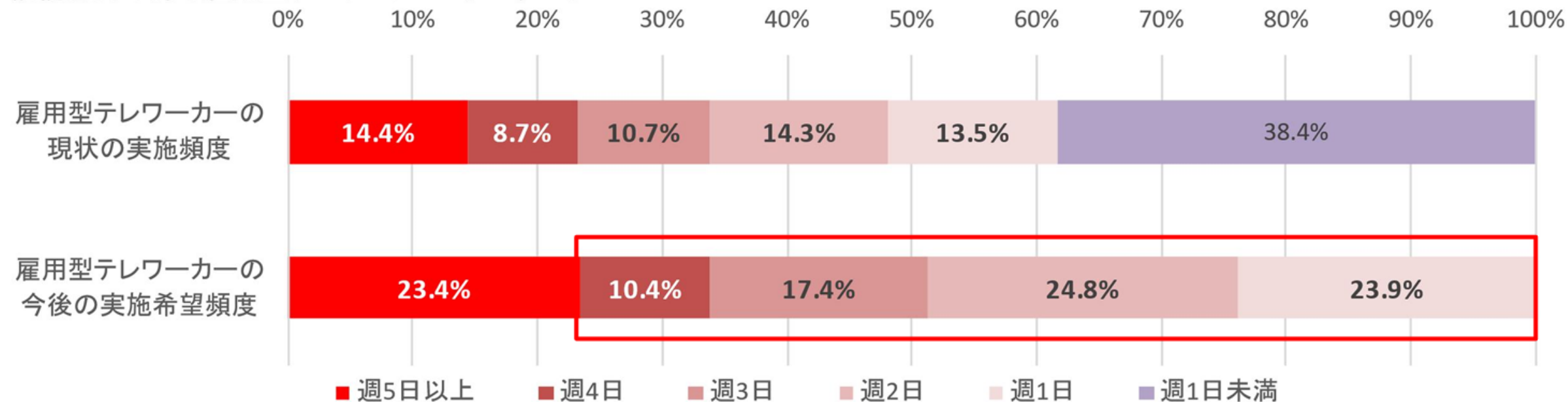
○継続意向のある雇用型テレワーカーの実施希望頻度は、現状よりも高い。

○継続意向のある雇用型テレワーカーの実施希望頻度は週2日が最も多く、次いで週1日、週5日以上が高い。  
半数以上が週3日以上を希望。

○7割以上は週1以上の出社と組み合わせたハイブリットワークを希望

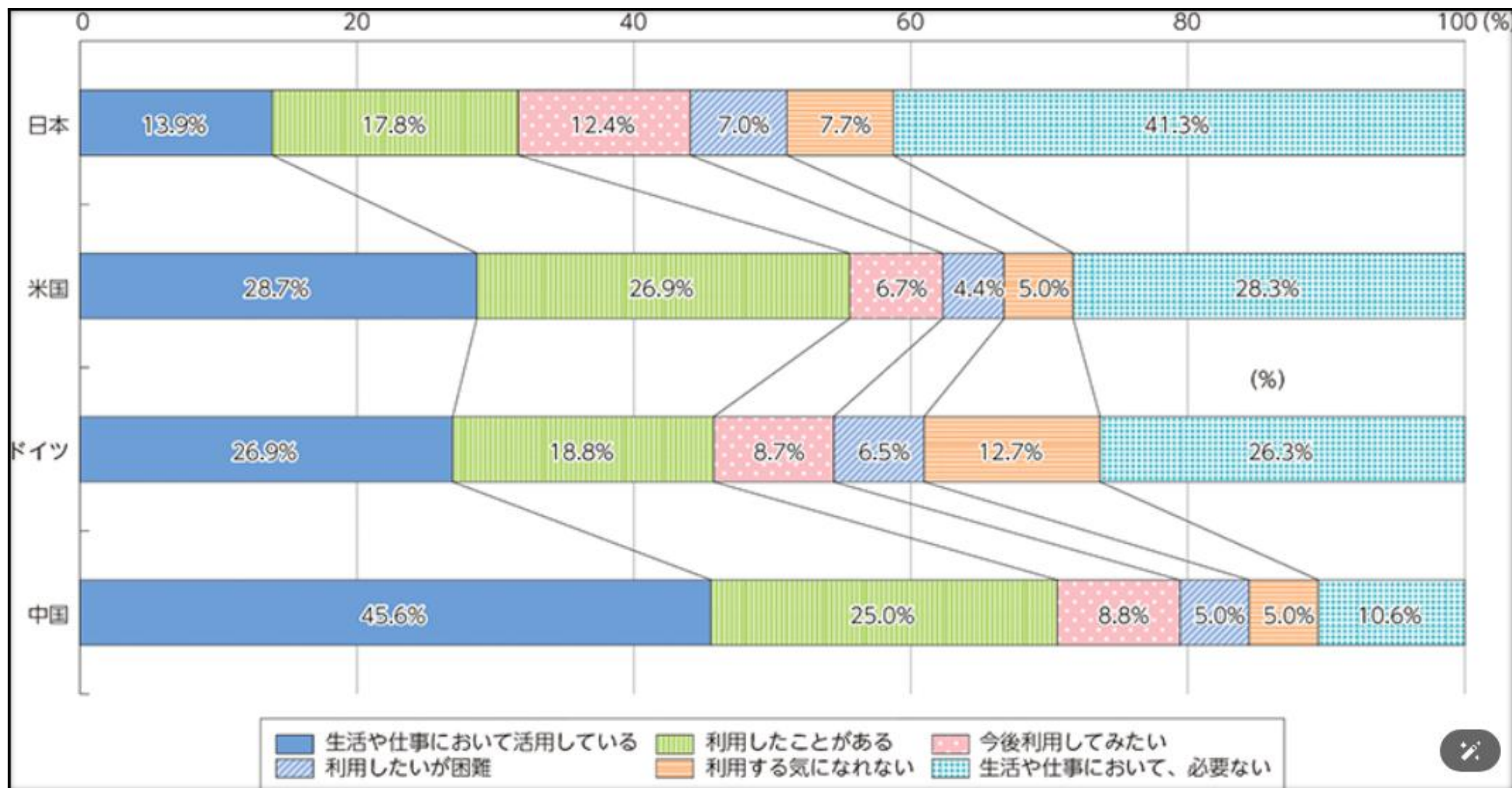
継続意向のある雇用型テレワーカーの実施希望頻度と現状の実施頻度

継続意向のある雇用型テレワーカー (n=5,672)



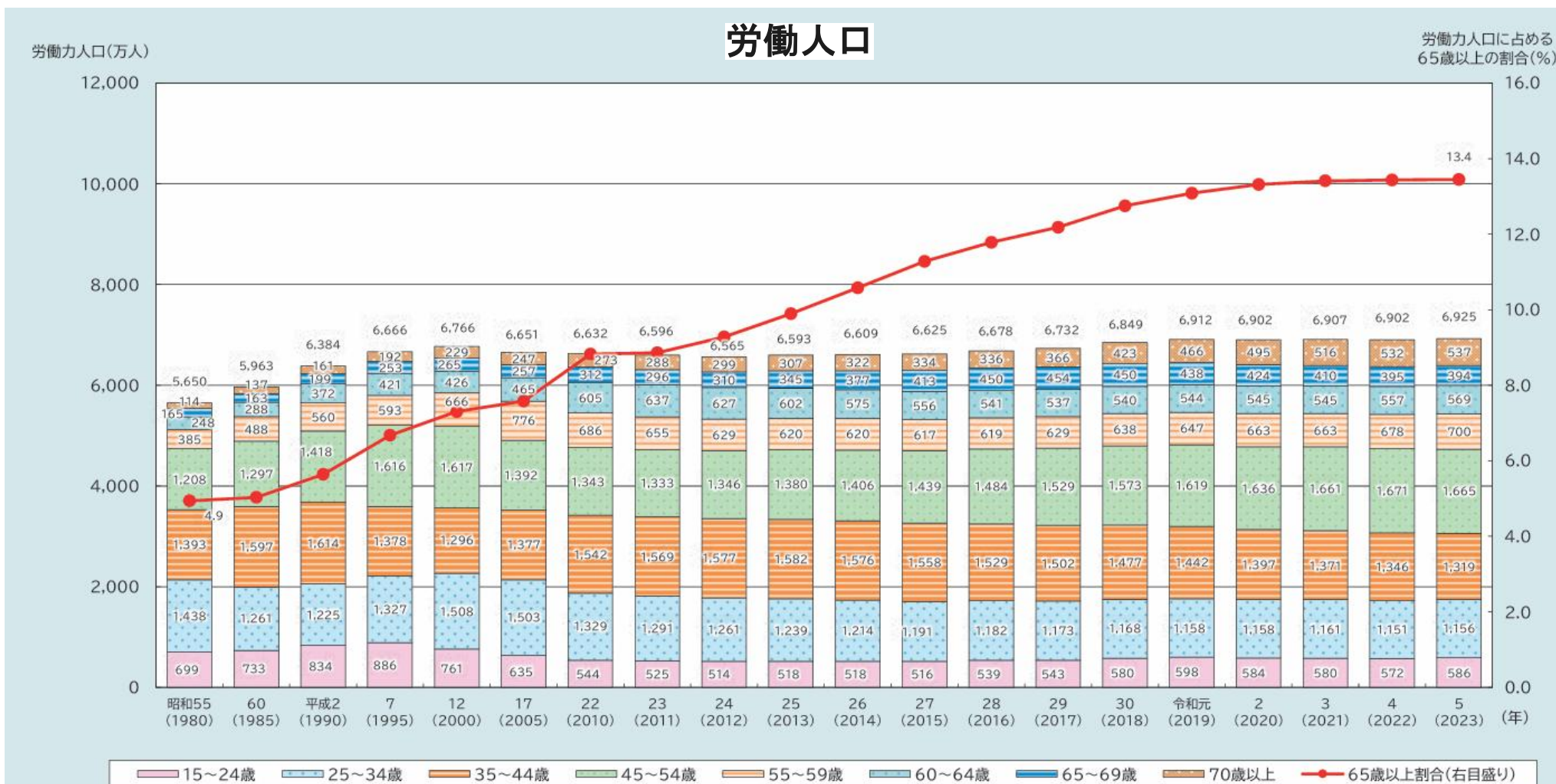
# 総務省 令和6年版 情報通信白書

## テレワーク・オンライン会議の利用状況(個人・国際比較)





# 内閣府 令和6年版高齢社会白書



資料：総務省「労働力調査」

(注1) 年平均の値

(注2) 「労働力人口」とは、15歳以上人口のうち、就業者と完全失業者を合わせたものをいう。

(注3) 平成23年は岩手県、宮城県及び福島県において調査実施が一時困難となったため、補完的に推計した値を用いている。

(注4) 四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

# 育児介護休業法 テレワークに関する法改正

<p>2025年4月1 日施行</p>	<p>【追加】 <b>3歳に満たない子を養育する労働者</b>に関し、育児短時間勤務制度を講ずることが困難な場合の代替措置の選択肢の1つにテレワークが追加されました。</p> <p>【努力義務】 <b>3歳に満たない子を養育する労働者</b>で育児休業をしていないもの、又は<b>要介護状態にある対象家族を介護する労働者</b>で介護休業をしていないものがテレワーク等を選択できるように措置を講ずることが、事業主の努力義務となりました</p>
<p>2025年10月 1日施行</p>	<p>【義務】 事業主は、<b>3歳から小学校就学前の子を養育する労働者</b>に対して、職場のニーズを把握した上で、①始業時刻等の変更、②テレワーク等（10日以上/月）、③保育施設の設置運営等、④養育両立支援休暇（就業しつつ子を養育することを容易にするための休暇）の付与（10日以上/年）、⑤短時間勤務制度、の中から2つ以上の措置を選択して講じなければなりません。</p> <p>【義務】 <b>3歳に満たない子を養育する労働者</b>に対して、子が3歳になるまでの適切な時期に、事業主は柔軟な働き方を実現するための措置として上記で選択した制度（対象措置）に関する以下の周知事項の周知と制度利用の意向の確認を、個別に行わなければなりません</p>

# テレワークを取り巻く概況

---

- 労働力確保は急務
- 「テレワーク」は、働く（ための）手段の一つ
- IT化をきっかけとしたテレワークが普及
  - 業種・業界の広がり→できない業種といった言い訳がしにくい
  - 人材確保へつながる
- 育児介護休業法の改正



「みんなでやろうテレワーク」ではなく、「**わたしのためのテレワーク**」に

---

【第8回テーマ】

# テレワーク社員のマネジメントと評価は 難しくない

# 必要だと思われるもの・こと（例）

## 1. 業務の可視化と情報共有

- タスク管理ツール（例：Trello、Backlog、Notionなど）や共有ドキュメントを活用。
- 「見えない働き」が過小評価されないよう、報告・連絡・相談の文化を醸成。

## 2. 働き方の柔軟性と信頼

- 働く時間や場所に一定の自由を認める代わりに、「信頼と責任」で関係を築く。
- **マイクロマネジメントを避け、成果と自己管理能力を尊重。**
- 1on1ミーティングやチームミーティングを定期的実施。
- 雑談や非業務的な会話も取り入れて心理的安全性を確保。

## 3. 明確な目標設定と期待値の共有・成果ベースのマネジメント

- 成果物や期限、品質基準などを明確に伝える。評価者サポート
- OKR（Objectives and Key Results）やSMART目標の活用が有効です。
- 定期的なコミュニケーション
- 勤務時間よりも「何を達成したか」にフォーカス。
- プロセスよりもアウトカムを重視する文化を育てる。

## 5. ツールの活用

- タスク管理（例：Trello、Asana）、コミュニケーション（例：Slack、Teams）、進捗共有（例：Notion、Google Docs）などを活用。

## 6. エンゲージメントの維持

- オンラインイベントやバーチャルランチなどでチームの一体感を醸成。
- 社員の声を拾うアンケートやフィードバックの仕組みも重要。



# 株式会社白山のテレワーク導入



米川社長



堀田業務改善室長  
兼生産技術部長

2020年2月

2020年4月

2020年6月

2020年7月

今後

どうしても、工場を  
守らなければ・・・

徹底的に憶病  
に行こうぜ

2月17日  
テレワーク開始

毎日イントラネッ  
トで社長メッセー  
ジを送信

自分自身も巡回で  
きないので、社員  
が心配

管理ができないと  
いう声も・・・

そもそも仕事を時間  
で図るな！  
時間管理したら生産  
性が上がるのか？

顔色を見られない、  
というのだけはど  
うしても課題。  
一方。One on one  
はむしろ増えた

新事業展開へ

経済産業省IT導入  
補助金で  
Office365を全社  
導入

人の代わりに  
IoTができる事  
は無いかな

3割程度しか使  
われていない

タブレットやPC  
を全社員に支給

紙に固執してい  
る社員を説得

厚生労働省テレワーク  
助成金を申請

印鑑文化が阻害  
要因

情報をクラウドで  
共有するメリッ  
トも感じられる

次はワークフ  
ローそのものの  
改善

# 株式会社白山のテレワークとリアルコミュニケーション

社長からのメッセージ

全社員説明会（事業計画等）



若手と幹部交流会（対話会、ゲーム）



志賀町の石川工場復旧祝いのBBQ大会

# これも1つのコミュニケーション！



11号機のシリンダー・  
・・・  
製品が詰まったのかな？



スマホからでも現場の様子がどこにいても分かる  
⇒”つながり感”

瞬時に判断できる  
⇒ダウンタイムの短縮





# こんなコミュニケーションも！

＜一人ひとりに優勝体験を＞ 月間MVP賞



似顔絵は米川社長が作画 Copyright © 2024 Hakusan Inc. All Rights Reserved

# こんなコミュニケーションも！

## Viva Victory –小さな勝利を祝う会–

部署間の連携、社員同士のコミュニケーション向上を目的として、月に一度、他者からの賞賛を受けた部門や個人に対して表彰式を実施

- ・総務人事 若手社員が中心となって企画、運営
- ・経営者や上司が支援

※企画名称やイラストなども若手社員が考案、デザイン



第4回VivaVictory表彰式を開催いたしました 🏆

9月25日、VivaVictory表彰式を開催いたしました。

今回もお忙しい中、表彰式の準備・運営にご協力いただいた皆様ありがとうございました！  
式にご参加いただいた皆様もありがとうございます 💖

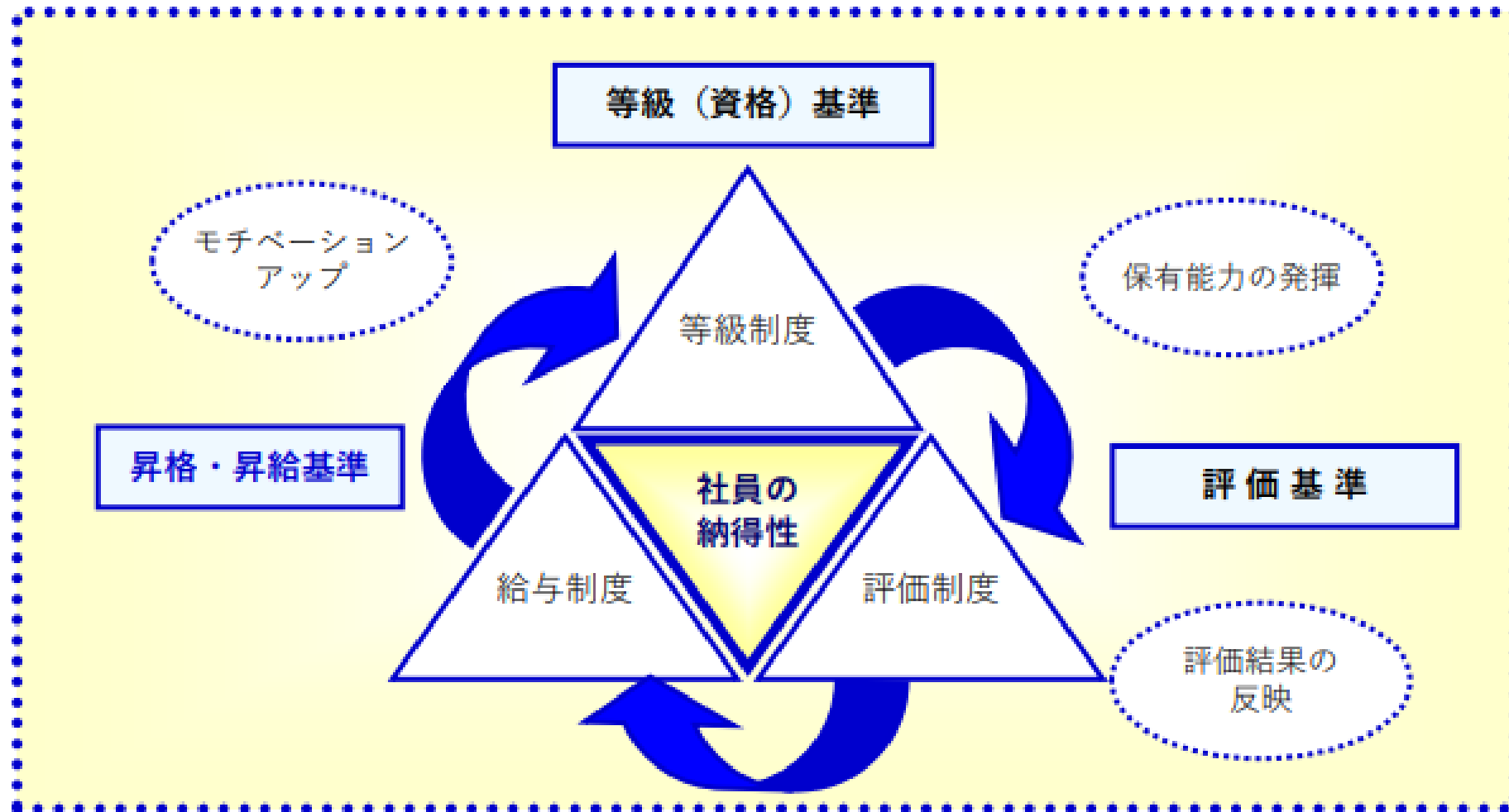
表彰式の様子を録画しましたので、当日参加できなかった方はぜひこちらをご覧ください。





# 株式会社白山の人事制度改革（役割等級制度）

各等級に求められる役割を細かく規定し、給与も含め全社員に公開



# グリービジネスオペレーションズ株式会社



- グリーグループの特例子会社
- データ作成・入力業務、総務・人事業務のサポート業務、ゲームビジネスサポート業務、品質管理、画像加工、調査などを受託で行っている
- 社員の8割以上は精神障害を抱えており、特に発達障害を持つ方が多い



「障害はあくまでグラデーションの中の一つであり、誰もが生きづらさを抱えている」という山本社長のもと、障がい者のみでなく、誰もが働きがいをもってそれぞれのスタイルで働ける職場を実現しているンガ



マネージャー 西村 優子 氏



マネージャー 田村 真梨子 氏

# グリーンビジネスオペレーションズ株式会社のお取り組み

社員の声に耳を傾け、安心してパフォーマンスを発揮できる環境を共に作り上げていくことが、持続的な企業成長への鍵

過集中になりやすいケースも  
突発的な休みが発生しやすい  
体調管理が難しい



社員一人ひとりの多様な特性を理解し、  
その強みを最大限に活かせる環境を整える

リカバリータイム（休憩時間）の設定

テレワークの導入

外部の専門家との連携

毎日の朝礼や1on1による個別サポート

オフラインイベント

スキルバッジを付与して賞賛 等



生産性向上

有給休暇の取得率向上



誰もが働きやすい企業に！

# テレワーク社員のマネジメントは人的資本経営そのもの

1. 業務の可視化と情報共有
2. 働き方の柔軟性と信頼
3. 明確な目標設定と期待値の共有・成果ベースのマネジメント
5. ツールの活用
6. エンゲージメントの維持

同じ方向を向いていること

コミュニケーション

同じもののさしを持つこと

心理的安全性

納得感（公開、公平）

個々人の幸せな働き方、個々人の成長  人材の価値最大化

# ICTの留意点

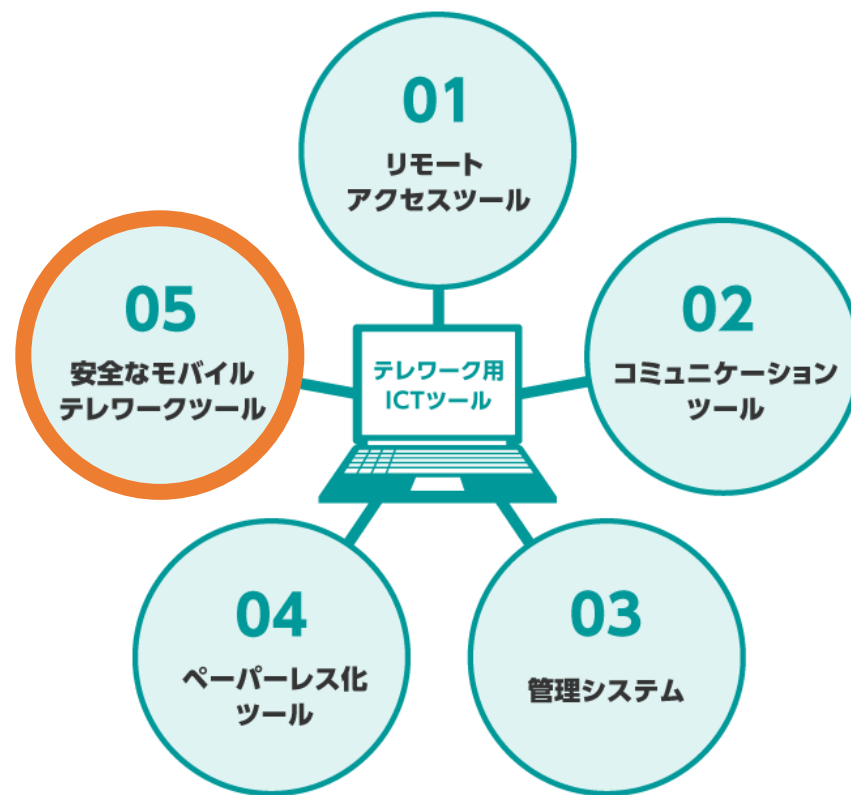
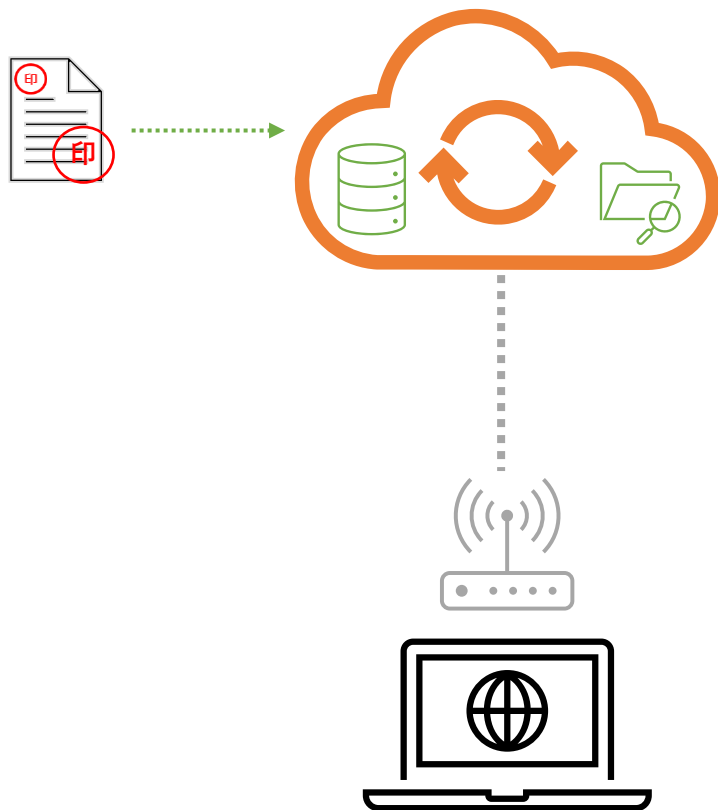




# テレワークに必要なICTツール

まずは、モバイル端末、通信環境、業務用データがあればスタートできます。

何よりも業務に必要な情報とプロセスがデジタル化されていること、セキュリティが担保されていることが重要です。



厚労省 テレワーク総合ポータル

# テレワーク時代で何が変わったのか？

## 働く場所

→ コントロール外

- ・ PC等情報機器の紛失/盗難リスク増
- ・ ネットワーク接続経路の複雑化
- ・ 家族等による誤操作
- ・ オンライン会議の常用
- ・ ひとりぼっち（有事の対応）

## 情報資産の格納場所

→ クラウド

- ・ キャビネット→サーバ→クラウドストレージ
- ・ 業務システム→SaaS・PaaSの普及

## サイバー攻撃

→ ランサムウェア・ビジネス詐欺

- ・ 6000億回の攻撃（国内）
- ・ 巧妙なマルウェア
- ・ 金銭狙い悪質化

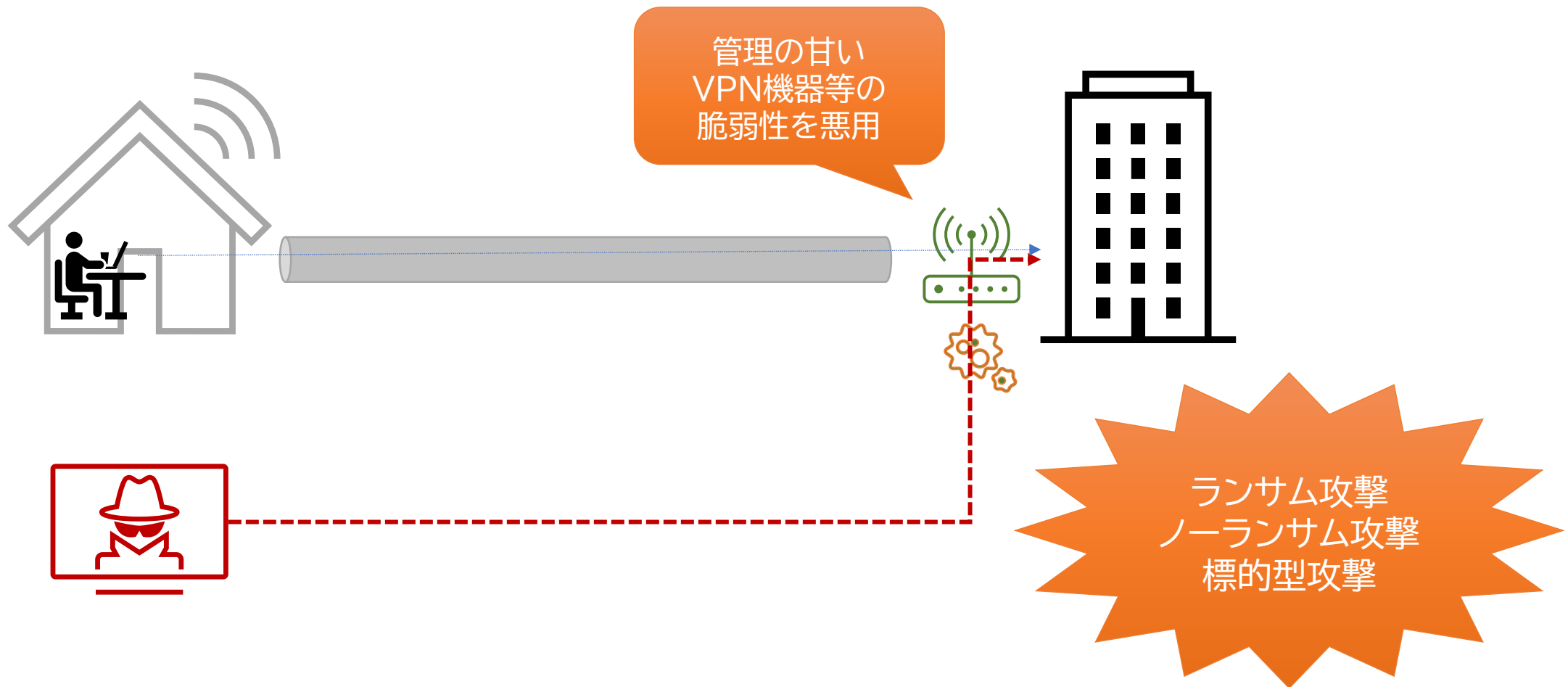
# 情報セキュリティ10大脅威2025

順位	「組織」向け脅威	初選出年	10大脅威での取り扱い (2016年以降)
1	ランサム攻撃による被害	2016年	10年連続10回目
2	サプライチェーンや委託先を狙った攻撃	2019年	7年連続7回目
3	システムの脆弱性を突いた攻撃	2016年	5年連続8回目
4	内部不正による情報漏えい等	2016年	10年連続10回目
5	機密情報等を狙った標的型攻撃	2016年	10年連続10回目
6	リモートワーク等の環境や仕組みを狙った攻撃	2021年	5年連続5回目
7	地政学的リスクに起因するサイバー攻撃	2025年	初選出
8	分散型サービス妨害攻撃(DDoS攻撃)	2016年	5年ぶり6回目
9	ビジネスメール詐欺	2018年	8年連続8回目
10	不注意による情報漏えい等	2016年	7年連続8回目

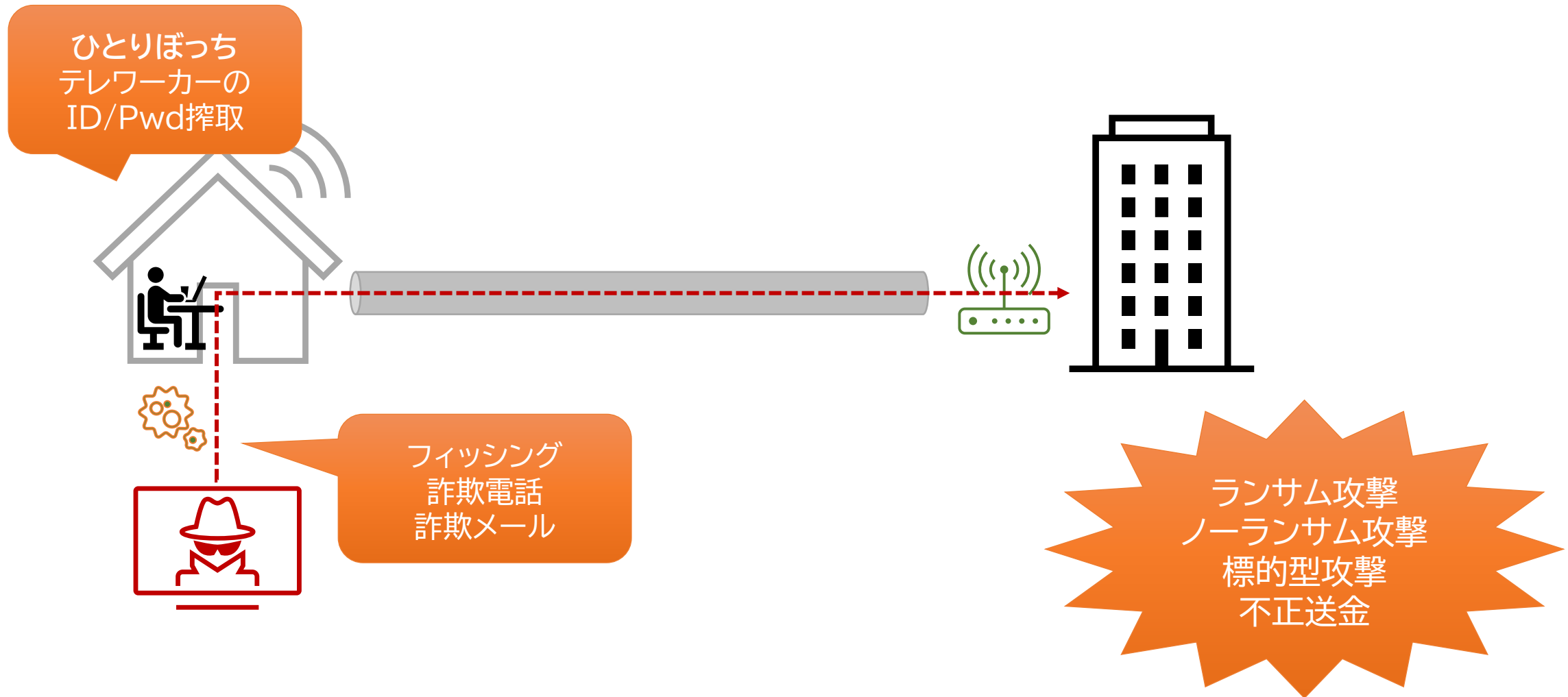
「個人」向け脅威(五十音順)	初選出年	10大脅威での取り扱い (2016年以降)
インターネット上のサービスからの個人情報の窃取	2016年	6年連続9回目
インターネット上のサービスへの不正ログイン	2016年	10年連続10回目
クレジットカード情報の不正利用	2016年	10年連続10回目
スマホ決済の不正利用	2020年	6年連続6回目
偽警告によるインターネット詐欺	2020年	6年連続6回目
ネット上の誹謗・中傷・デマ	2016年	10年連続10回目
フィッシングによる個人情報等の詐取	2019年	7年連続7回目
不正アプリによるスマートフォン利用者への被害	2016年	10年連続10回目
メールやSMS等を使った脅迫・詐欺の手口による金銭要求	2019年	7年連続7回目
ワンクリック請求等の不当請求による金銭被害	2016年	3年連続5回目

出典：IPA（独立行政法人 情報処理推進機構）

# テレワーク等の環境や仕組みを狙った攻撃①



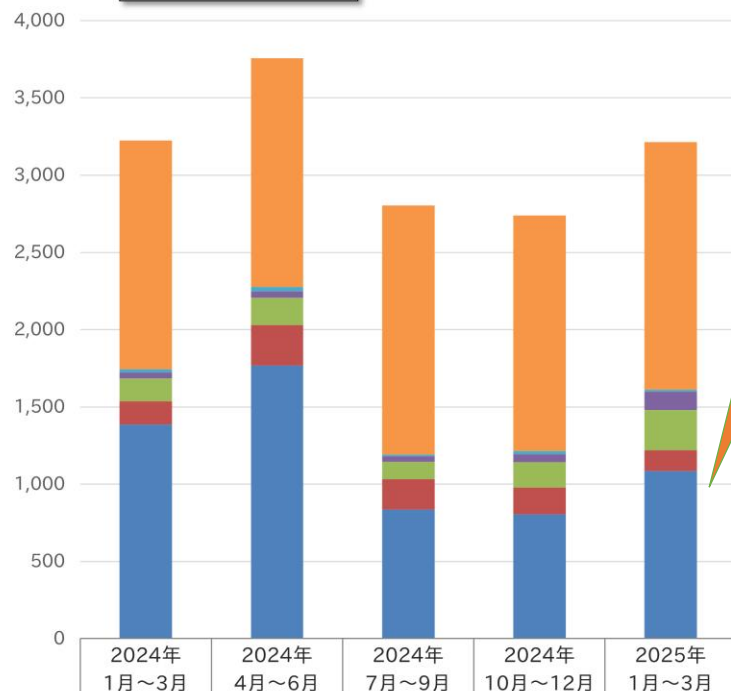
# テレワーク等の環境や仕組みを狙った攻撃②





# セキュリティ相談・報告件数

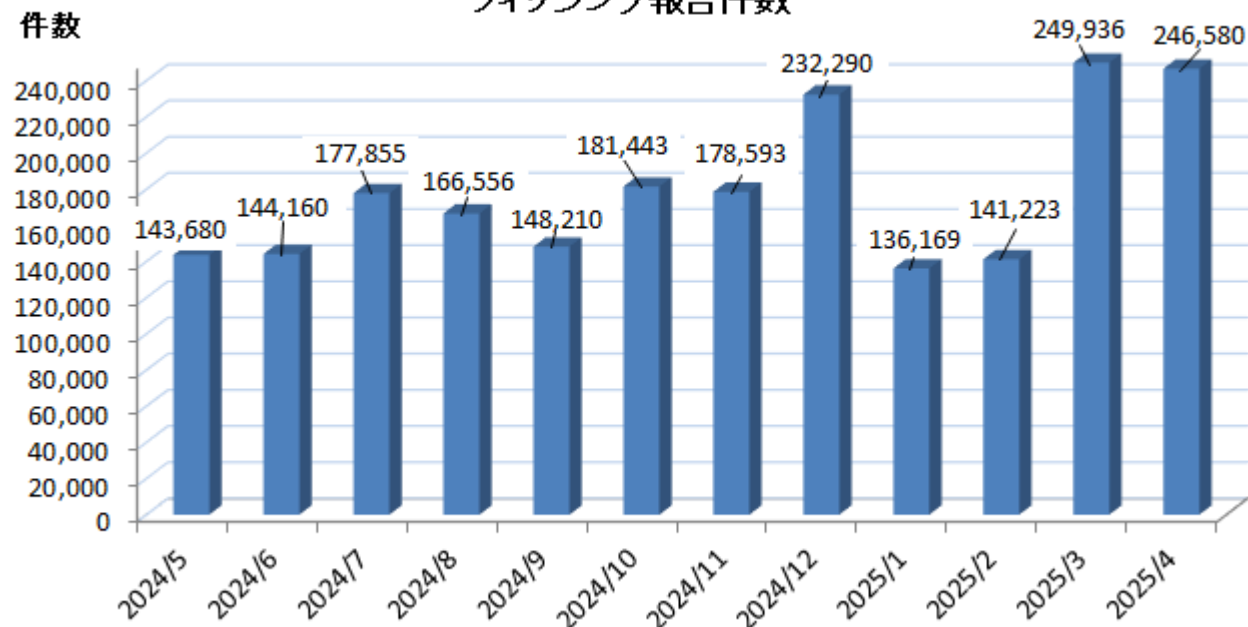
手口別相談件数



偽警告が  
依然最多

証券会社が  
急増中

フィッシング報告件数



出典：IPA（独立行政法人 情報処理推進機構）

出典：フィッシング対策協議会

# ウイルス検出の偽警告

×マークが無い場合は  
Esc長押しで表示



マイクロソフトセキュリティ  
アラーム、エラーナンバー  
XXXXXXX。

あなたのPCは第2バンクトロイ  
ヤンに感染しています。  
このウイルスはクレジット  
カード情報、Facebookのパス  
ワード、その他の個人情報を  
リモートIPアドレスを通して  
ハッカーに送信します。  
フリーダイヤルで当社に  
今すぐお電話ください。

出典：一般財団法人 日本サイバー犯罪対策センター

# 巧妙化するフィッシング

## カード会社から請求金額のお知らせ

The screenshot shows a PayPay Card statement for May 2025, with a balance of 5,000 yen. Red annotations highlight several phishing risks:

- A link to "請求明細を確認する" (Check statement details) is annotated with "アプリを利用できない方はウェブで請求明細を確認する" (If you cannot use the app, check the statement details on the web).
- A QR code is annotated with "QRコードの部分をリンク" (Link to the QR code part) and "<https://www.iwasaki.com/> など" (e.g., <https://www.iwasaki.com/> etc.).
- A QR code is annotated with "PayPayの正規サイトへ誘導され、認証情報を入力すると迷惑してしまう" (Redirected to the official PayPay site, and entering authentication information will be troublesome).
- A QR code is annotated with "PayPayの正規サイトへ誘導され、認証情報を入力すると迷惑してしまう" (Redirected to the official PayPay site, and entering authentication information will be troublesome).

## 証券会社からキャンペーンのお知らせ

The screenshot shows a campaign page for Mitsubishi UFJ Morgan Stanley Securities. Red annotations highlight several phishing risks:

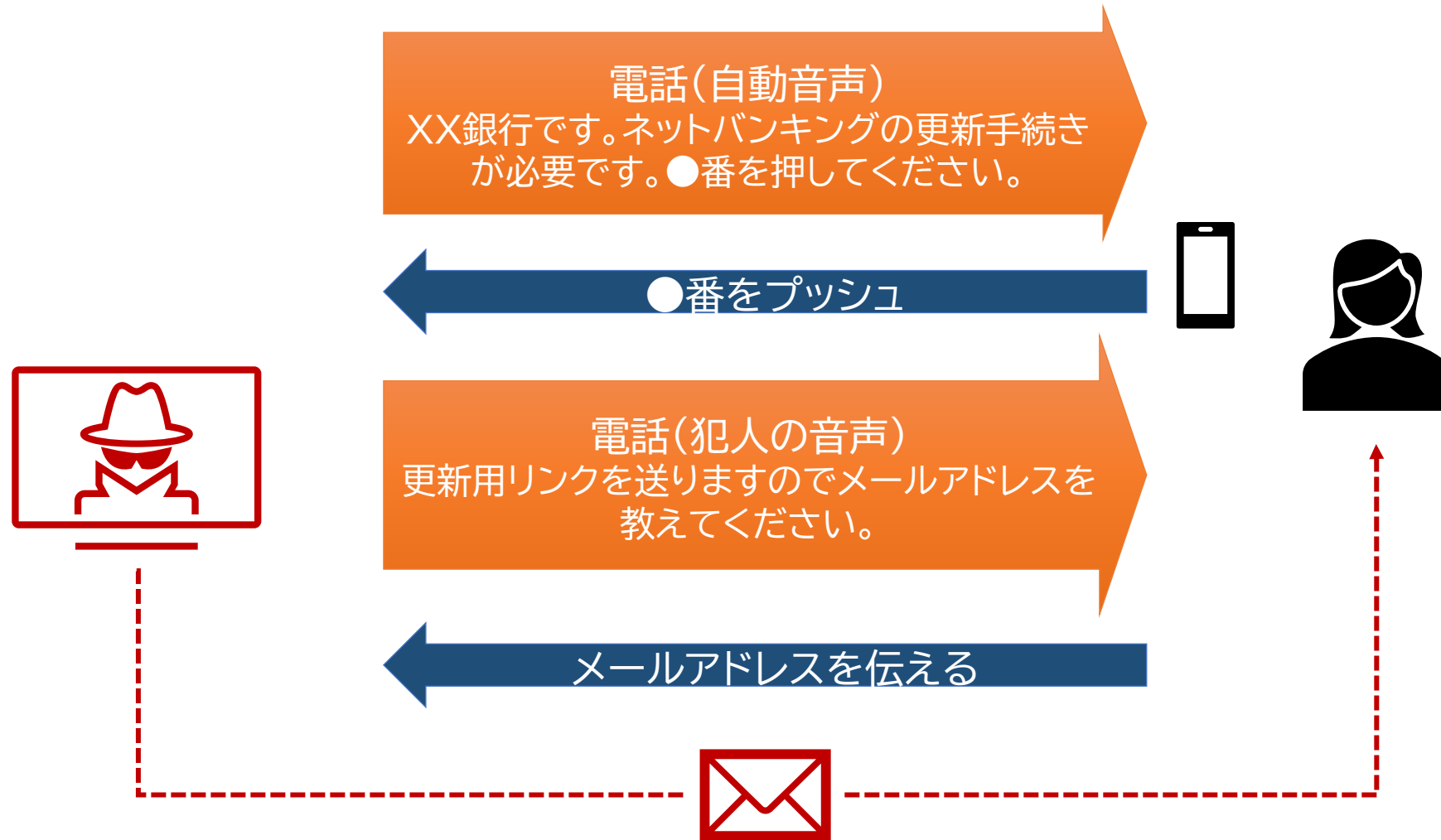
- A link to "▼キャンペーンエントリーはこちら" (Click here to enter the campaign) is annotated with "https://www.sc.mufig.jp/index.html/" and "<https://www.sc.mufig.jp/index.html/>".
- A QR code is annotated with "PayPayの正規サイトへ誘導され、認証情報を入力すると迷惑してしまう" (Redirected to the official PayPay site, and entering authentication information will be troublesome).

## ガス会社から支払金額不足のお知らせ

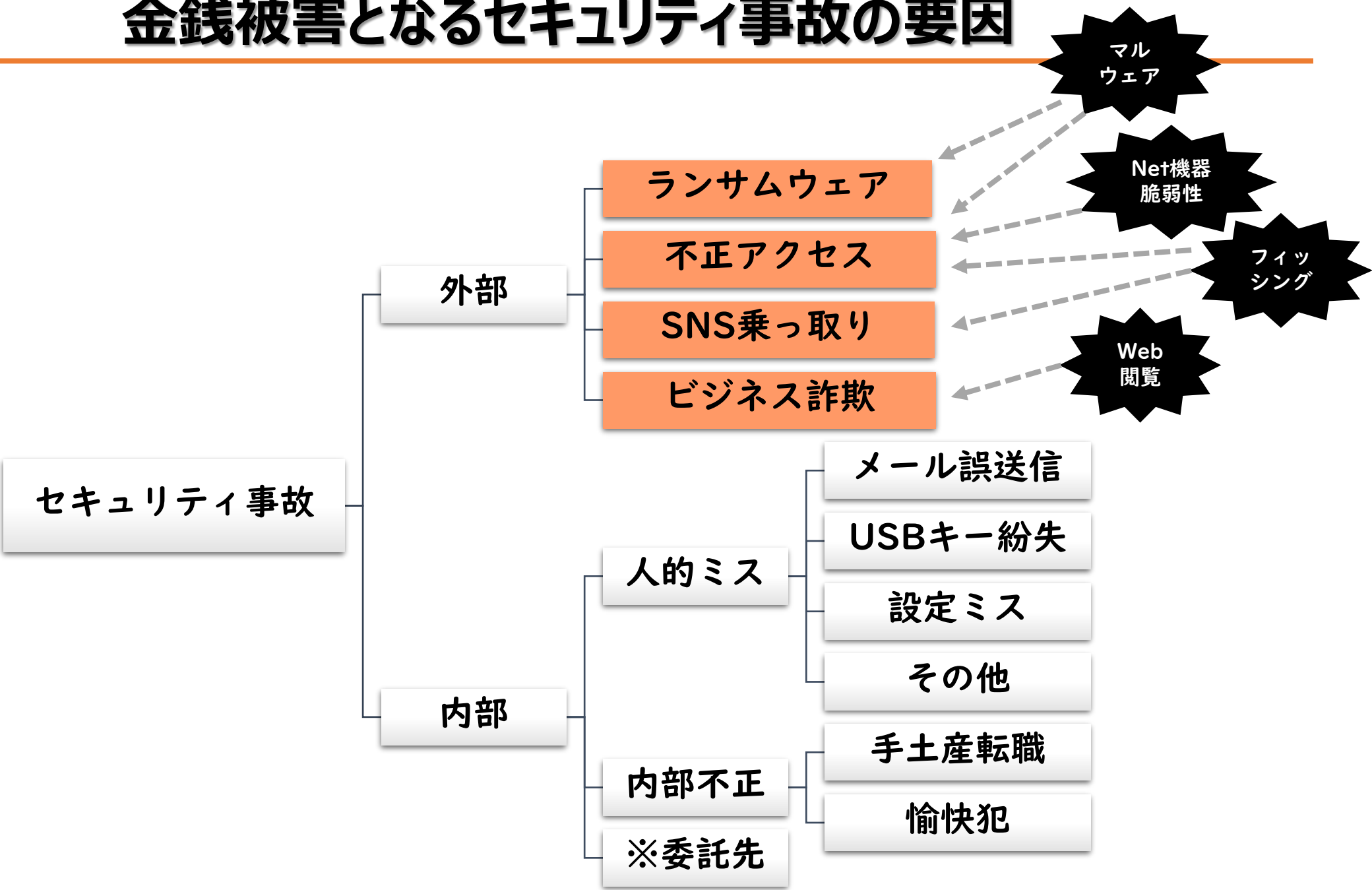
The screenshot shows a myTOKYO GAS payment page. Red annotations highlight several phishing risks:

- A link to "支払い情報を更新" (Update payment information) is annotated with "<https://...@ik...cn/?token...> など" (e.g., <https://...@ik...cn/?token...> etc.).
- A link to "お支払い方法を更新する" (Update payment method) is annotated with "<https://mytokyogas-beginosi.sh...cn/api/mtgas/auth/login/> など" (e.g., <https://mytokyogas-beginosi.sh...cn/api/mtgas/auth/login/> etc.).

# ボイスフィッシング（ビッシング）



# 金銭被害となるセキュリティ事故の要因



# まずはミニマム対策7条

## 特定・防御（脆弱性の点検）

最新パッチ  
(端末)

教育・訓練  
(犯罪手口の共有)

パスワード強化  
(使いまわし禁止)

## 防御・検知（侵入機会の最小化）

最新パッチ  
(自宅含むNet機器)

クラウド設定  
(委託・退職者ID)

## 対応・復旧（被害の最小化）

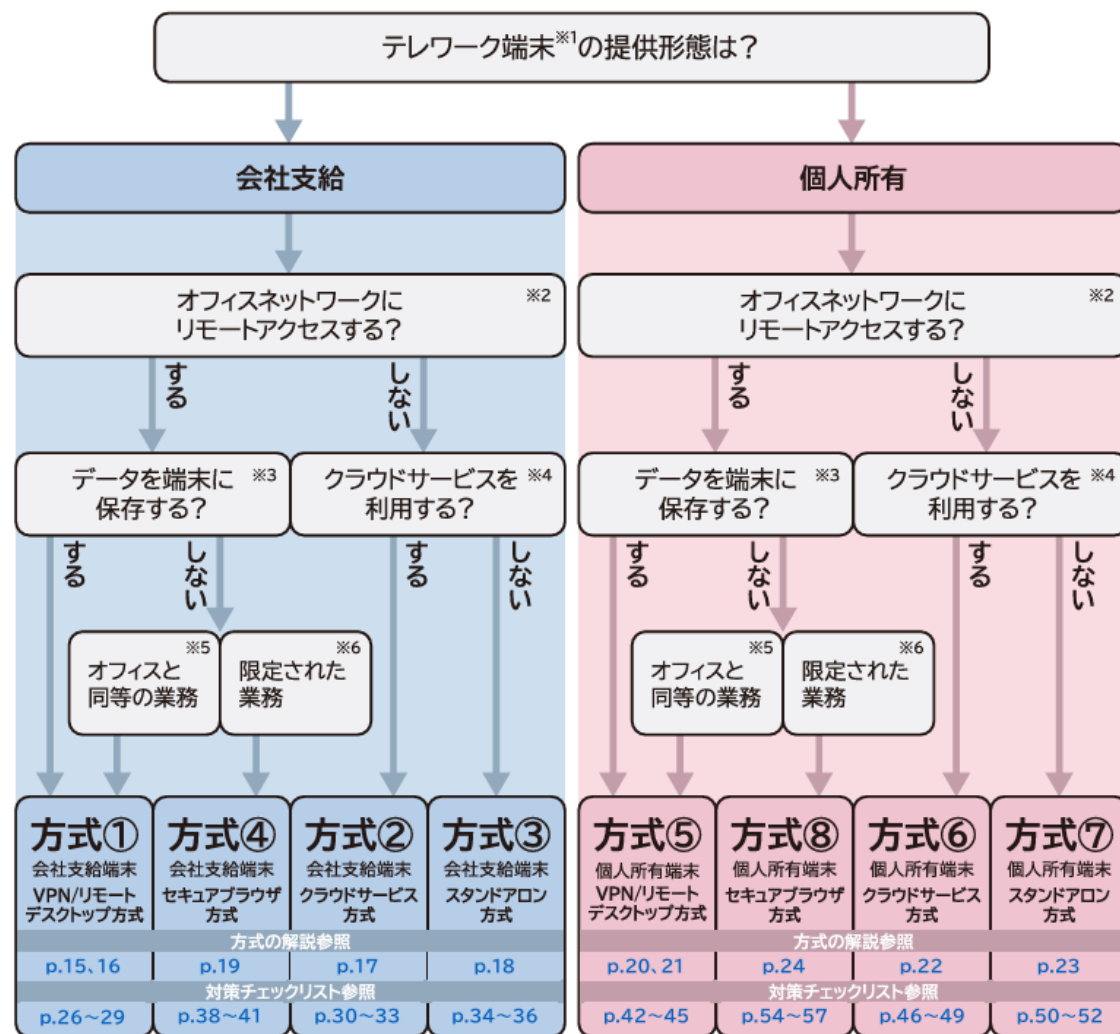
オンラインバンキング・クレカ決済  
多要素認証

有事の手順  
相談窓口



# 中小企業等担当者向けテレワークセキュリティの手引き

[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000816096.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000816096.pdf)



## 方式① テレワークセキュリティ 対策チェックリスト(1/4)

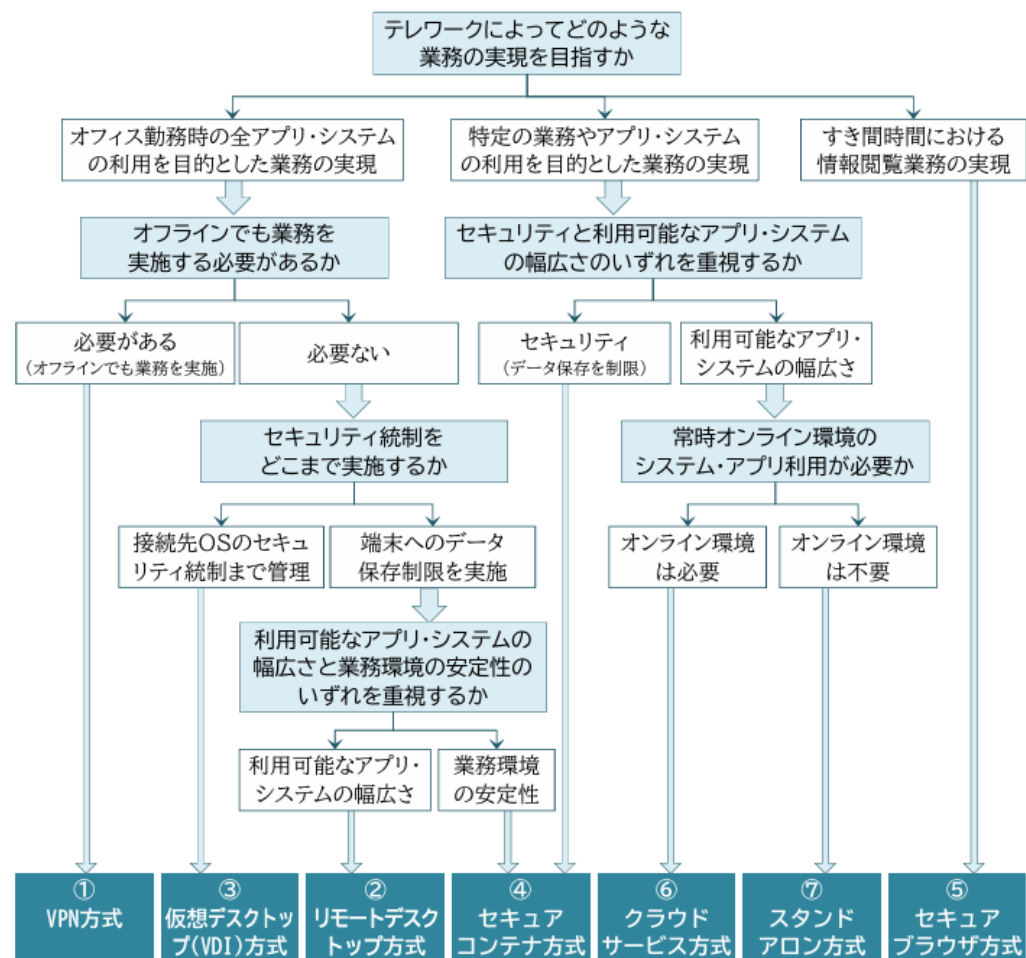
### 会社支給端末：VPN/リモートデスクトップ方式

※対策内容の下線付き用語については、p.88以降で解説しています。

優先度：◎		A3 見開きで印刷して、問題なければ✓チェックしましょう。↘		
No.	分類 [p.70～87]	対策内容	対応済	想定脅威 [p.65～69]
1-1	資産・構成管理 → p.71	テレワークには許可した端末のみを利用するよう周知し、テレワーク端末とその利用者を把握する。	<input type="checkbox"/>	マルウェア感染 不正アクセス 盗難・紛失
1-2	資産・構成管理 → p.71	テレワークで利用しているシステムや取り扱う重要情報を把握する。	<input type="checkbox"/>	不正アクセス 情報の盗聴
2-1	マルウェア対策 → p.72、73	テレワーク端末にウイルス対策ソフトをインストールし、リアルタイムスキャンを有効にする <sup>※1</sup> 。ウイルス対策ソフトの定義ファイルを自動更新する設定にするか、手動で更新するルールを作成する。	<input type="checkbox"/>	マルウェア感染
2-2	マルウェア対策 → p.72、73	不審なメールを開封し、メールに記載されているURLをクリックしたり、添付ファイルを開いたりしないよう周知する。	<input type="checkbox"/>	マルウェア感染
3-1	アクセス制御・認可 → p.74、75	許可された人のみが重要情報を利用できるよう、システムによるアクセス制御やファイルに対するパスワード設定等を行う。	<input type="checkbox"/>	不正アクセス
4-1	物理セキュリティ → p.76	テレワーク端末にのぞき見防止フィルタを貼り付けるよう周知する。	<input type="checkbox"/>	情報の盗聴
4-2	物理セキュリティ → p.76	テレワーク端末から離れる際には、スクリーンロックをかけるよう周知する。	<input type="checkbox"/>	情報の盗聴
5-1	脆弱性管理 → p.77、78	テレワーク端末にはメーカーサポートが終了したOSやアプリケーションを利用しないよう周知する。	<input type="checkbox"/>	不正アクセス
5-2	脆弱性管理 → p.77、78	テレワーク端末のOSやアプリケーションに対して最新のセキュリティアップデートを適用するよう周知する。	<input type="checkbox"/>	不正アクセス
5-4	脆弱性管理 → p.77、78	テレワーク端末から社内にリモートアクセスするためのVPN機器等には、メーカーサポートが終了した製品を利用せず、最新のセキュリティアップデートを適用する。	<input type="checkbox"/>	不正アクセス
7-1	インシデント 対応・ログ管理 → p.80、81	セキュリティインシデントの発生時や、そのおそれがある状況に備えて、対応手順及び関係者への各種連絡体制を定め、従業員に緊急連絡先を周知する。	<input type="checkbox"/>	マルウェア感染 不正アクセス 盗難・紛失 情報の盗聴

# 総務省テレワークセキュリティガイドライン

[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000752925.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000752925.pdf)



推奨製品の  
仕様・価格など

[https://japan-telework.or.jp/tw\\_info/suguwakaru/guide/](https://japan-telework.or.jp/tw_info/suguwakaru/guide/)

やってみようかなと、少しでも思ったら



はろー て れ わーく  
0120-86-1009

平日9時から17時



sodan@japan-telework.or.jp



ご訪問して行うコンサルティングも、3回まで無料です。  
IT系も労務管理系も、幅広く対応できます。

厚生労働省事業